

中東の音階を参考にした 和声の探求・考察

...

Maqam Bayatiは西洋音楽を拡張するか？

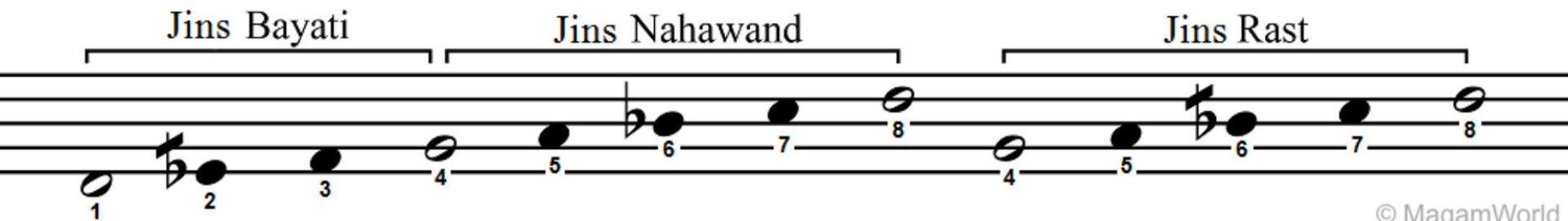
中東の音階

音階のパーツからできる

このパーツを「ジンス(アジュナス)」という
ジンスを組み合わせて
「マカーム」をつくる

アジャム

Maqam Bayati



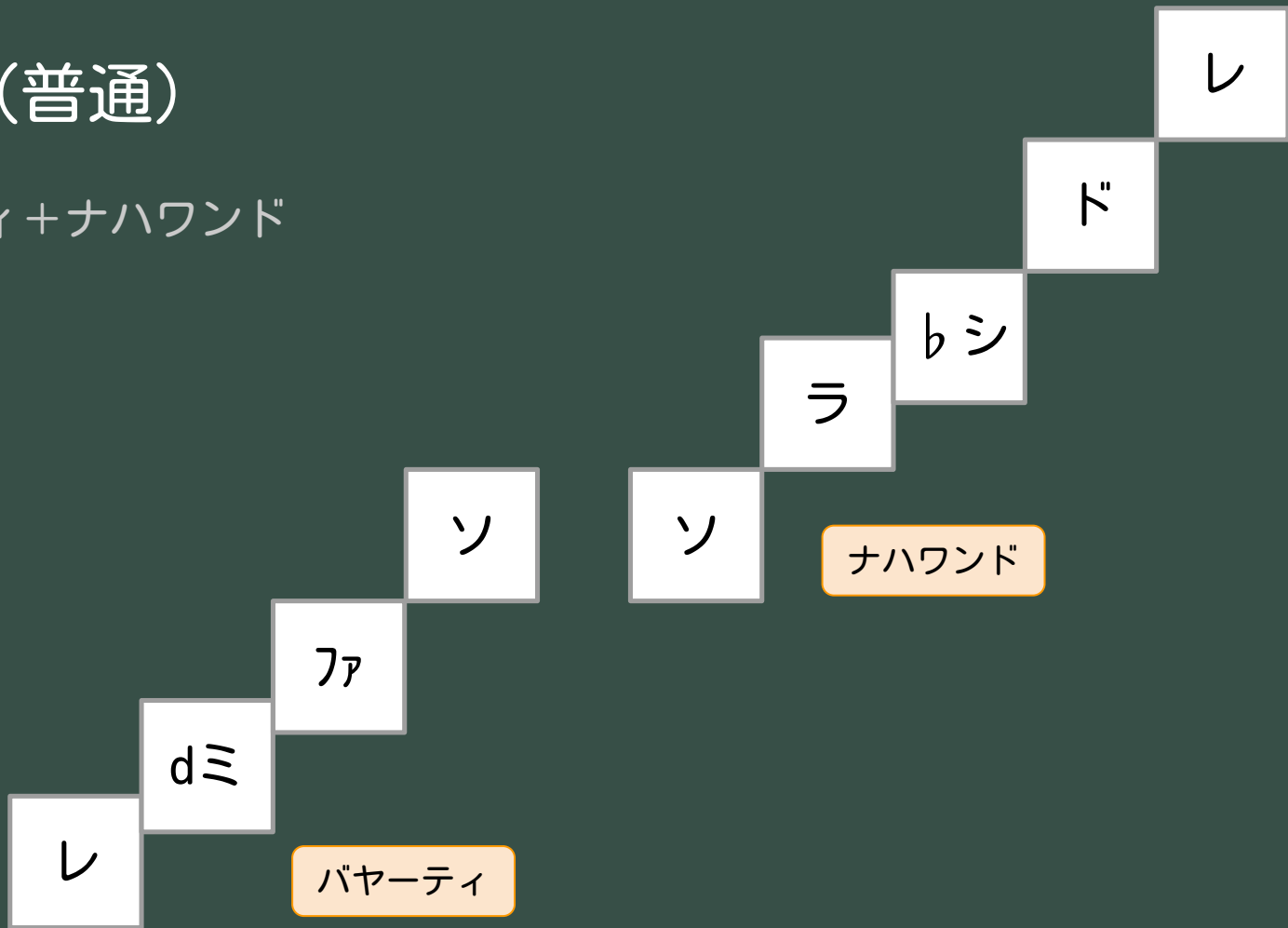
© MaqamWorld

バヤーティは短調の2番目がハーフフラットする（中立2度）

場合によっては6番目は中立6度になる

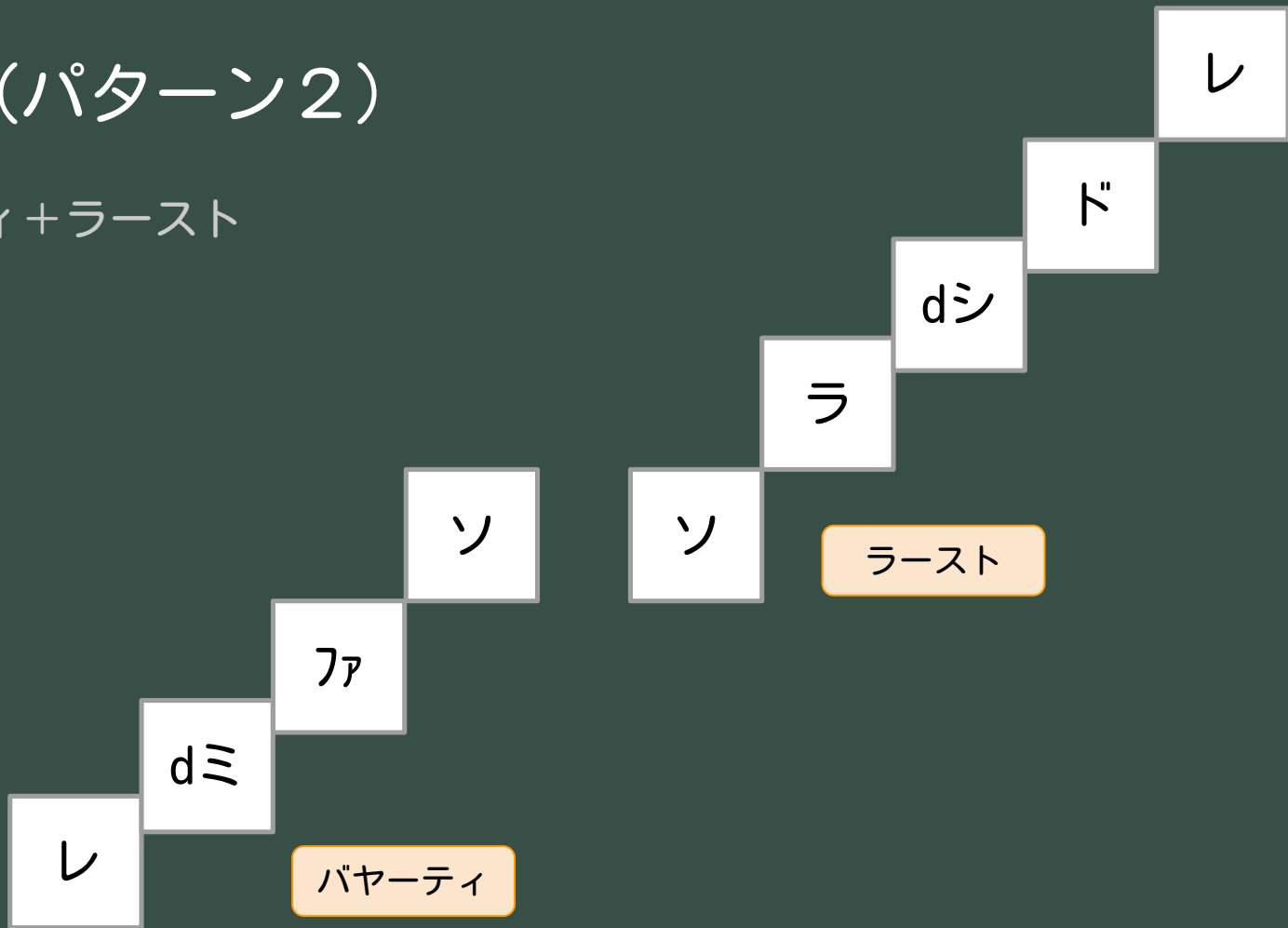
パーティー（普通）

ジンス・パーティー+ナハワンド

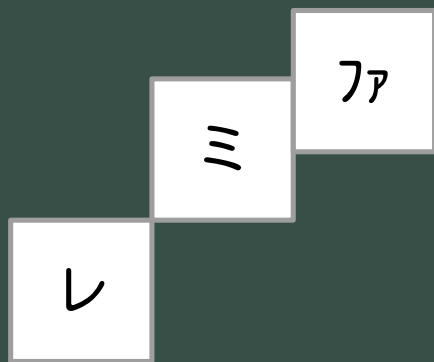


パーティー（パターン2）

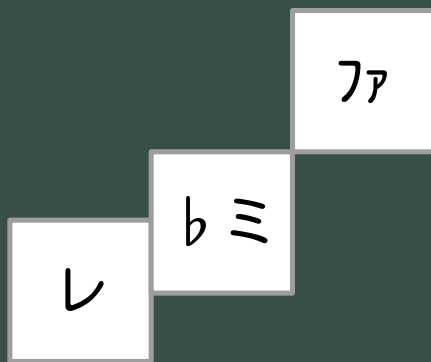
ジンス・パーティー+ラスト



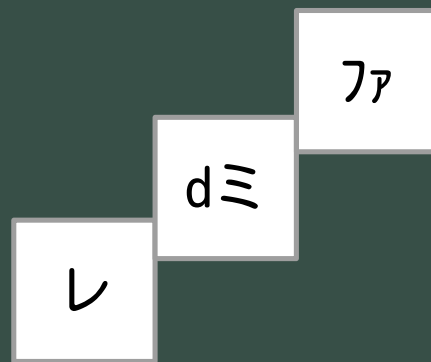
短3度 2等分「ヘミオリック・クロマティック」



マイナー的



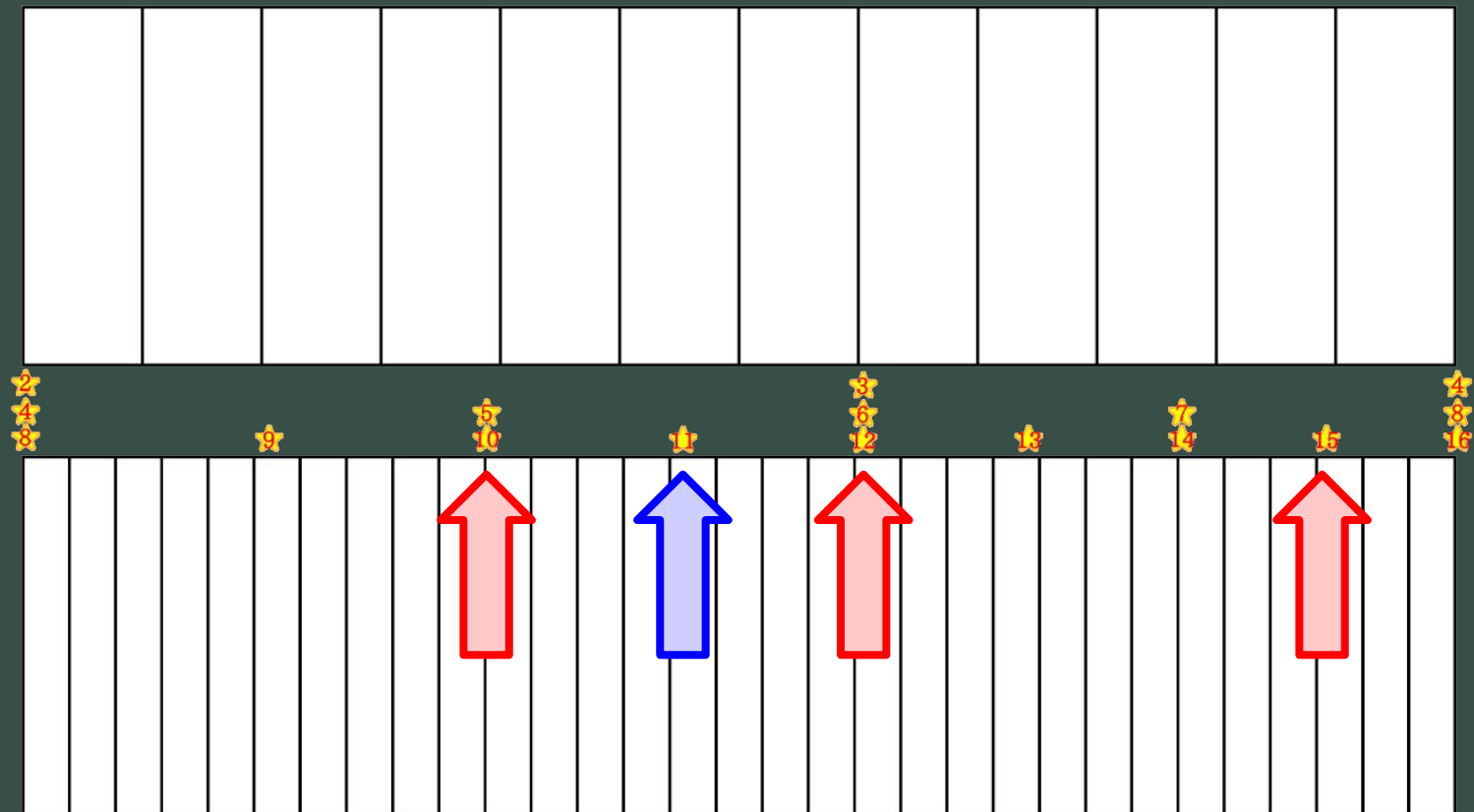
フリジアンの



バヤーティ的



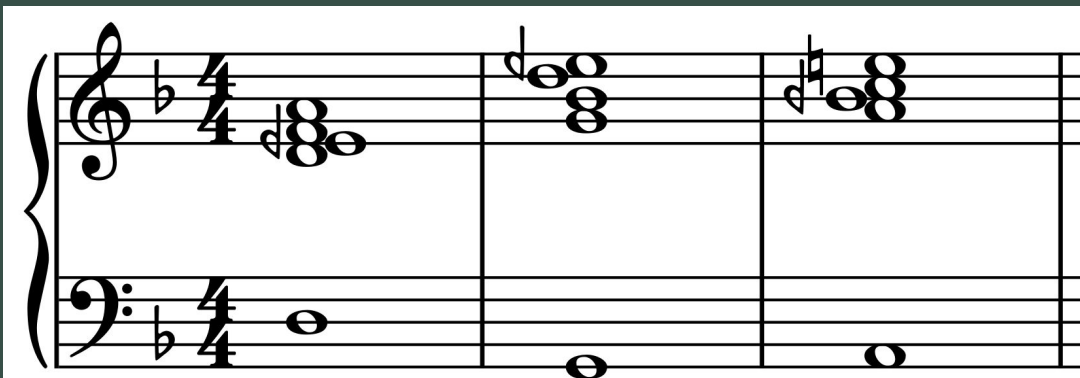
倍音との近似および31平均律



11-limit 和声？

マイナーコードに対する貫入

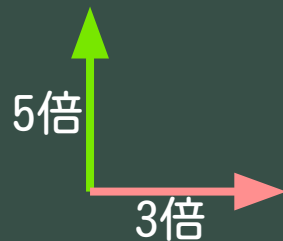
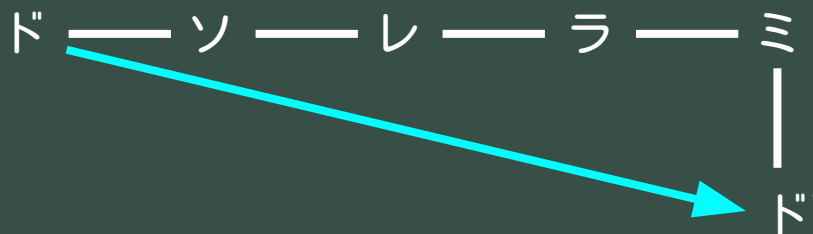
2度音・6度音に中立音程を導入



31平均律と24平均律が緩和するコンマ

Syntonic comma $81/80$

| -4 4 -1 0 0 0 >



5度圏を4個進んだ音、**長3度**が**純正長3度**に近似する性質

これを緩和する音律は「Meantone」と呼ばれ、
一般的なダイアトニックスケールによる音楽に適する

41平均律や53平均律はこのコンマを緩和できない

31平均律と24平均律が緩和するコンマ

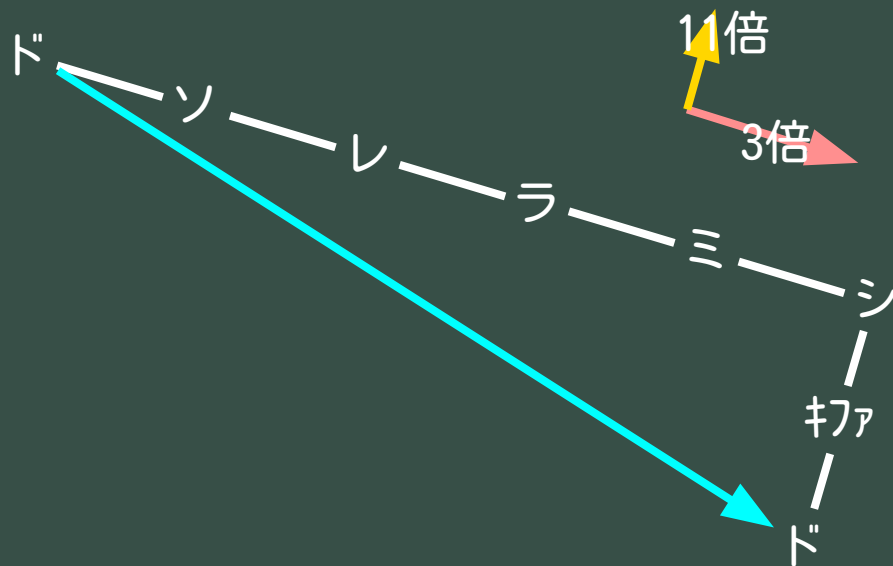
Rastma 243/242

| -1 5 0 0 -2 0 >

長3度と短3度の間に位置する
中立3度が11/9に近似し、
これが完全5度を2等分する性質

中東の音階「マカーム」は潜在的にこのコンマを緩和しており、
マカームの一種「ラースト」(راست)が命名の由来になった

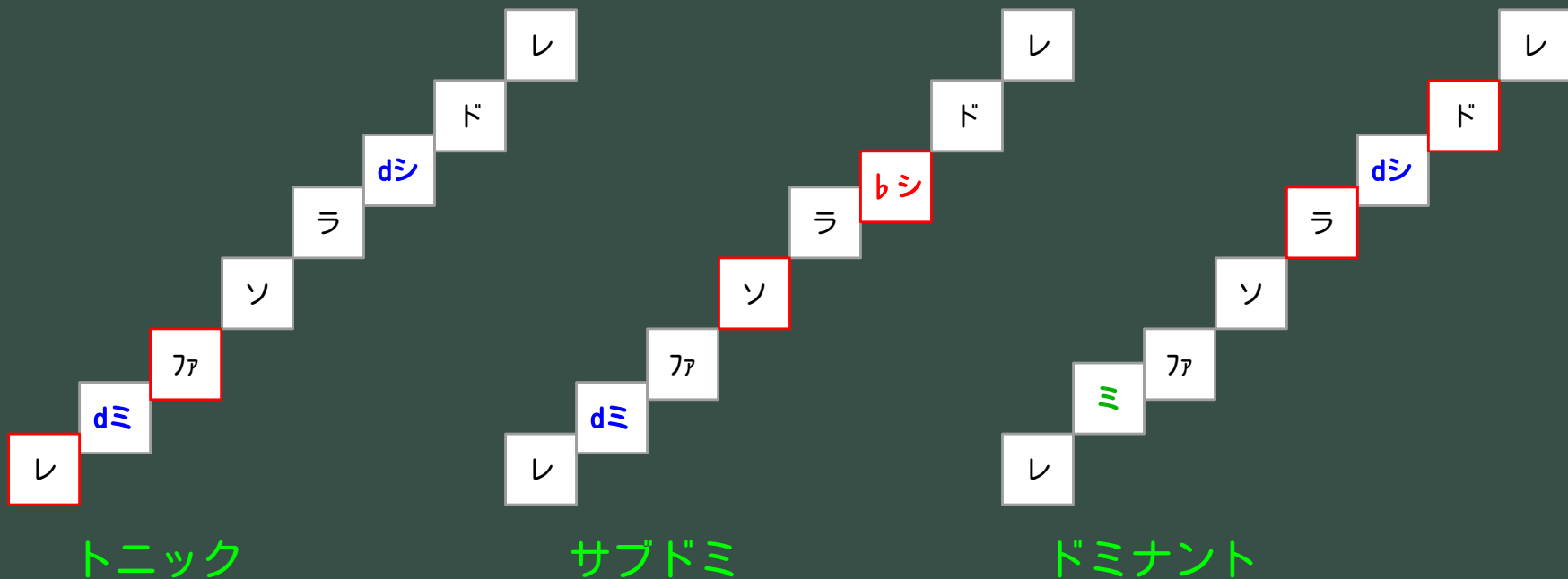
中東の音階との親和性大





機能と声との整合

機能に応じた構成音の融通（ハーモニックマイナー的な挙動）



機能と和音 - 音楽の統語のファクター



トニック

dB
G
dE
C
A
F
D

Dm7
(d9, d13)

サブドミ

dE
C
A
F
D
$\flat B$
G

Gm9
(d13)

ドミナント

F
D
dB
G
E
C
A

Am7
(d9)

トニック
パラレル

D
dB
G
dE
C
A
F

Fm9
($\sharp 11$)

サブドミ
パラレル

G
dE
C
A
F
D
$\flat B$

$\flat B$ M7
($\sharp 11$)

ドミナント
パラレル

A
F
D
dB
G
E
C

CM9
($\sharp 11$)

ナニコレ
トニック?

D
A
F
D
dB
G
dE

dEn7
(d9, $\sharp 11$, d13)

ありがとうございました。

画像引用一覧

<https://www.maqamworld.com/en/maqam/bayati.php>